

# レタッチお助け隊

●ナビゲーター Let'sフォト絵

【今回使用したソフト】 AdobePhotoshopElements(TM) アドビシステムズ

6月

.....FUNCTION.....

ハイライト  
(白色点)

## 結婚パーティの白いドレスを輝く白に!

こちらは本番の撮影でうまく撮れなかったとき、パソコンのレタッチソフト上できれいに補正しちゃうというレタッチお助け隊。Let'sフォト美の妹である私、フォト絵が担当します。どうぞよろしくね! さて、「デジタルカメラ機能撮影」ではバッチリ成功したようですが、フォト美ったらその後の二次会では気がゆるんだようであまりうまく撮れなかったみたい...。そこで私がレタッチ術でお助けすることに。



## Section 1

### 失敗すると、色かぶりします

今回、姉のフォト美から修正を頼まれた写真は、パーティ会場のライトとホワイトバランスが合わなかったため白いドレスが赤紫っぽい色に偏ってしまいました。



### \*Before\*

#### ■色かぶりの実例

デジタルカメラで撮影するとき、ホワイトバランスの設定が正しくないと、このように全体的に青っぽくなったり赤っぽくなったり、特定の色に偏って写ってしまいます。それを「色かぶり」といいます。



## Section 2

### ハイライトとホワイトバランスは同じ?

さて、この写真を美しくよみがえらせるために、レタッチソフトでは「ハイライト(白色点)」を指定しなおす方法で色補正してみます。

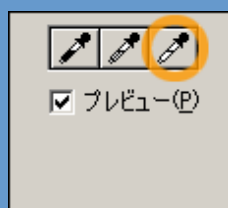
このハイライトとは、デジタルカメラのホワイトバランスと考え方はほぼ同じ。画像全体の中で適正な白と思われる部分をクリックして指定することで、そこを基準に画像全体の色合いを調整しようというものです。

### \*Study\*

#### ■ハイライトで色を補正するには

PhotoshopElementsのメニューバーから[イメージ]-[色調補正]を選び、その中にある[レベル補正]または[トーンカーブ]を選択します。

すると、表示されるウィンドウ内左下に、下図と同じスポイトツールが3つ並んでいますので、この一番右のスポイトツールを選びます。



ちなみに、3つのスポイトツールは、左から「シャドウ(黒)」、「ガンマ(中間調)」、「ハイライト(白)」となっています。

## Section 3

### 実際にハイライトを指定してみよう

では、ハイライトで色補正するためのスポイトツールをクリックし、補正する画像ウィンドウに移ります。

操作の手順は、

1) ハイライトのスポイトツールをとり、基準にする白い部分をクリックする(例:しるしをつけた部分)。

2) 補正されたイメージを確認し、それで良ければ「OK」を押して操作を確定する。

ですが、白でもクリックする場所によっては微妙に明るさや色の成分が異なるため、画像の中でいろいろな白い部分をクリックして変化を確認してみてください。「OK」ボタンで確定しないかぎり何度もトライできます。

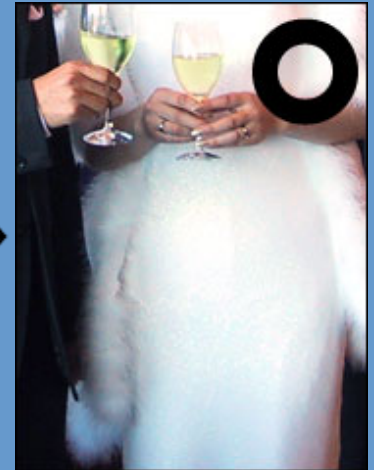
そして、もっとも自然な色合いになったところで「OK」ボタンをクリックします。



#### \*Example\*



しるしをつけた部分を白色点として指定(クリック)します。



クリックした部分を中心に、自然な白色に変わりました。



ためしに、別の場所を白色点として指定(クリック)してみると...



全体的に青みよりも赤みの強いイメージになり、かなり白くなりました。しかし、白くなりすぎていただけません。

## Section 4

### 適正な白になれば、肌色もキレイに

こうして、たったワンクリックで 色かぶりしていた画像を自然なイメージに補正することができました。

基準の白色が正しく補正されると、同時に画像全体の色も適正な色になります。当初は青ざめていた肌の色も、このように健康的な色になりましたね。



### \*After\*

こんなふう  
に、多少の失  
敗ならレタッ  
チソフトを  
使ってかなり  
修正するこ  
とができます  
ので、必要に  
応じて試して  
みてください  
ね。

